



Tanabe East Rotary Club in 2015-16

2015-16年度RI会長: K.R. ラビンドラン
 第2640地区ガバナー: 豊澤 洋太郎
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 坂本 正人
 幹事: 畔田 実
 会報: 本田 耕二 委員長

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 http://tanabe-east-rc.com/
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~
 ビジターフィー ¥2,000



○本日の唱歌

唱歌委員 谷本 司 君
 「田辺東ロータリー讃歌」
 作詞: 青木 泰秀
 作曲: 古家 通代



○ゲスト

朗読サークル
 代表 楠本 郡子様



○ビジター

田辺はまゆうRC三谷 実 様
 ようこそお越しくださいました。



○出席報告

会員数 47名 義務免除 3名 本日の欠席者 13名
 出席率 69.77% 7月15日の修正出席率 95.24%

○にこにこ報告 (敬称略)

◇お世話になります。

田辺はまゆうRC 三谷 実 様

◇朗読サークル 代表 楠本郡子様を
 お迎えして。

木村壽一、畔田実、前田吉彦、
 丸山博之、森本修至、中川文恵、
 中嶋伸和、那須壽子、野村憲司、
 岡本博、佐田一三、武田静也、
 竹村英一、谷本司、谷中順次郎、
 早稲田清司、渡口真二、山本亘、
 上原俊宏、吉田和枝、吉本正美

◇朗読サークル 代表 楠本郡子様へ
 の卓話謝礼を「にこにこ」頂きました。

◇田辺はまゆうRCの三谷様、昨年は大変お世話になりました。合同例会は一生忘れないものになりました。本日はメーキャップにお越し頂き、重ねてお礼申し上げます。

坂本 正人



◇お花頂きます。

畑地 誠

◇本人誕生日

○日数~ 30,000日- 63才×365日
 =7005日 ≒ 7,000日 (残り生きる日数らしい) 夢、羽ばたくかのお~

愛須 勝章



◇奥様誕生日

○好きなだけ肥って良いよ!!
 そして長生きしてね!!

本田 耕二



橋本 隆



沖 史郎



安井 忠雄



○会長報告

坂本 正人



■本日のお客様は、朗読サークル「さくらんぼ」代表 楠本郡子(くすもと くにか)様をお迎えしています。後ほど宜しくお願い致します。

- 7月31日(金)、I M 1組の7クラブの会長会議を白浜にて開催されました。
- 8月17日(月) 田辺市暴力追放協議会総会が開催されます。会長代理として副会長の佐田会員に出席して頂きます。ご苦労様ですが宜しくお願い致します。7月17日(金)開催予定でしたが、台風が接近していた為、延期になりました。
- 来週8月12日(水)の例会は休会です。

○幹事報告

畔田 実



■例会日時変更

◎有田2000RC 8月12日(水)

→ 休会

◎御坊東RC 8月19日(水)→ 8月22日(土)19:00~

場所: 会員宅 <御坊市花火大会 家族例会>

■回覧

◎ロータリーの友事務所 ロータリージャパンより「ロータリーニュース—8月の特別月間名称変更についてのお知らせ」

変更前名称: 「会員増強・拡大月間」

変更後名称: 「会員増強・新クラブ結成推進月間」

◎豊澤ガバナー事務所より

「米山記念奨学生卓話のご案内」

「ガバナー月信8月号」

◎ガバナーホームページより

「Facebook」

「委員会報告—管理運営委員会・奉仕プロジェクト委員会・ロータリー財団委員会・米山記念奨学委員会・その他(会員増強委員会)」

■連絡

◎ロータリーの友8月号が届いています。

各自トレイに入れてあります。宜しくお願い致します。

◎次週8月12日(水)の例会は休会です。

次回は8月19日(水)です。

8月13日(木)~14日(金)は事務局も休業致します。

緊急の場合は会長・幹事まで宜しくお願い致します。

委員会報告

○会報委員会

ロータリーの友抜粋 平成27年8月5日 田辺東RC雑誌担当 上原記

神戸北RC会員で、循環医で陣内科の茅園建新先生が「水と健康」についての卓話を同クラブで行った記事が、卓話の泉(2015年8月:18/67)に掲載されている。昨今は、灼熱の火災地獄のような猛暑で、毎日のように熱中症の話題やニュースには事欠かない日々が続いています。人間の体(成人)では、不感蒸泄から1ℓ、排泄で1.5ℓの水が失われるので、少なくとも1日2.5ℓの経口補水が必要になる等の記事があります。熱中症に気をつけましょう。



さて、水と言えば田辺祭りは実は水の祭りであるという説をお話ししましょう。

① 鬮鶏神社が鶏の宮であるという話は前述の通りですが、五行の哲学によりますと、東青龍木、南朱雀火、西白虎金、北玄武水という配当になります。そして西ノ宮であり、鶏の宮である鬮鶏神社は鶏を正畜とする金気の神社と言うことになります。そして五行の哲学として知られるもう一つの特徴に相生(そうしょう)というのがあります。木は燃えやすく火をよびます、木生火。火は燃えて後に灰(土)を生じます、火生土。土は鉱床として金属を生じます、土生金。そして金属は湿度の高いところでは表面に水をよびます、金生水。このようにして金気は、必然的に水を生じると言うことになります。秋の次ぎに順繰りに季節が巡り水の季節である冬になるのも五行ではよく知られた摂理となるのです。季節の正循を守るためにも、お祭りは必要となるようです。

さて、この故を持って金気の神社である鬮鶏神社は、その五行的性格から水を派生することが想定できます。金生水なのです。つまり鬮鶏神社は水を大切に、水を守る神社であると言うことができるのです。田辺祭りでは渡御として江川に出向き水垢離をすることになっています。

四つのテスト: 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

○会報委員会

田辺祭りを夏の御霊祭とすれば水を守る、つまり水害を防ぐという意味を込めての夏祭りであるといえます。京都の八坂神社の祇園祭とは異なる意味があるのです。これが本宮大社と同じ春祭りであるならば、水田の水の安定供給を意味する祭りとなる所以です。江戸の初め頃、田辺祭りの形ができた頃、安藤氏の統治時代、何度も会津川が氾濫したのではないのでしょうか、安藤氏にしてみれば治水事業の大きな柱が、鬮鶏神社の夏祭りであったはずで

その被害は明治22年の大水害のようであったことでしょうか。ヒトにとっても、田辺祭りにとっても水はとても大切な要素です。どうです、すこしは田辺祭りの意義がわかってきましたか。祭りの後から祭りの意義を考えることを「あとのまつり」と申しますが、理解しないよりはましというモノでしょう。

もしかしたら、6月の終わりの大祓のごとく、水の悪霊と共にヒトの1年の汚辱もまた会津川の水に流す祭りであったのかも知れません。祝田辺祭！

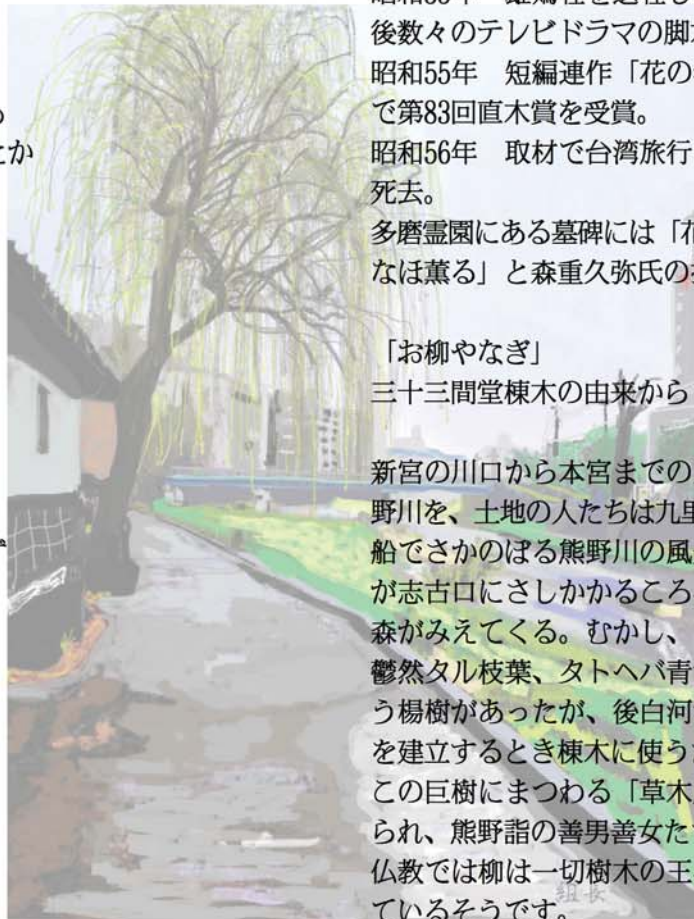
本日のプログラム

○朗読サークル「さくらんぼ」 代表 楠本 郡子様

祝婚歌

吉野弘

二人が睦まじくいるためには
愚かであるほうがいい
立派すぎないほうがいい
立派すぎることは
長持ちしないことだと
気づいているほうがいい
完璧をめざさないほうがいい
完璧なんて不自然なことだと
うそぶいてるほうがいい
二人のうちどちらかが
ふざけているほうがいい
ずっこけているほうがいい
互いに非難することがあっても
非難できる資格が自分にあったか
どうか あとで
疑わしくなるほうがいい
正しいことを言うときは
少し控えめにするほうがいい
正しいことを言うときは
相手を傷つけやすいものだと
気づいてるほうがいい
立派でありたいとか
正しくあいたいとかいう
無理な緊張には色目をつかわず
ゆったり ゆたかに
光を浴びているほうがいい
健康で 風に吹かれながら
生きていることの懐かしさに
ふと 胸が熱くなる
そんな日があってもいい
そして
なぜ胸が熱くなるのか
黙っていても二人には
わかるのであってほしい



《プロフィール》

西牟婁郡振興局を退職後、和歌山放送朗読教室に入学。4年間で終了し、友人と朗読サークル「さくらんぼ」を立ち上げる。

「かわうそ」

向田邦子 昭和4年11月28日 — 昭和56年8月22日

脳卒中の後遺症が残る夫宅次と年下の妻厚子、中年夫婦にひそむ微妙なすれ違いを綴った作品。

誰もが何となく思い当たるところのある日常の一場面を切り取り人間のおもしろさ悲しさが深い愛情を持って描かれている。

昭和35年 雄鶏社を退社しフリーライターとして独立、以後数々のテレビドラマの脚本を制作。

昭和55年 短編連作「花の名前」「かわうそ」「犬小屋」で第83回直木賞を受賞。

昭和56年 取材で台湾旅行中飛行機墜落事故で享年51才で死去。

多磨霊園にある墓碑には「花ひらき、はな香る、花こぼれ、なほ薫る」と森重久弥氏の挽歌が記されている。

「お柳やなぎ」

三十三間堂棟木の由来から

新宮の川口から本宮までの九里八丁（約三十六キロ）の熊野川を、土地の人たちは九里峡とよんでいる。このあたり、船でさかのぼる熊野川の風光は、いまものどかである。船が志古口にさしかかるころ、石河原の向こうに楊枝薬師の森がみえてくる。むかし、この地に「六十余丈ノ柳アリ。鬱然タル枝葉、タトヘバ青龍ノ天ヨリ降ルガ如キ」といゆう楊樹があったが、後白河法皇が京都蓮華法院三十三間堂を建立するとき棟木に使うために伐られたという。この巨樹にまつわる「草木成仏」の悲話が伝説として物語られ、熊野詣の善男善女たちの涙をしぼった。仏教では柳は一切樹木の王、仏に供える最高の聖木とされているそうです。

ヤーヤーまつり

和歌山県田辺市街地の商店街や通りを会場に8月8日、「第41回ヤーヤーまつり」が開かれた。さまざまな催しを楽しむ多くの家族連れらでにぎわった。

銀座、湊本通り、駅前、アオイ通り、北新町、宮路通り、栄町の各商店街と海蔵寺通りを会場に市商店街振興組合連合会が開いた。「ヤーヤー」と声を掛け合いながら交流を深め、真夏の夜を楽しんでもらおうと始まった催し。会場は歩行者天国となり、ゲームや飲食のコーナーが並んだほか、大道芸や太鼓の披露、バンド演奏なども展開。海蔵寺通りや宮路通りでは事前に公表していなかった企画として、熊野高校のクラブ「KUMANOサポーターズリーダー」のストリートダンスがあった。音楽とともに生徒が踊り始めると、たちまち人だかりができた。輪に交じって踊る来場者もあり、盛り上がりを見せた。



踊りを披露する熊野高校の生徒達

弁慶まつり

「弁慶まつり」は、武蔵坊弁慶が田辺一帯を統治していた熊野別当の子という伝説から、昭和62年（1987年）、田辺市観光ビジョン実施計画委員会の提言を受け、「武蔵坊弁慶・熊野水軍出陣800年祭」として始まった和歌山県田辺市の祭である。第1回目の弁慶役には野球解説者の江本孟紀が、湛増役には当時の生駒啓三・田辺市長が扮し、武蔵坊弁慶熊野水軍出陣行列には、約150名が参加した。

毎年10月第1金曜と土曜において、演劇・弁慶伝説、弁慶ゲタ踊り、鬼若太鼓を軸に、紀州弁慶よさこい踊り、物産テント市など様々なイベントを折りまぜながら開催している。

武蔵坊弁慶役

初代弁慶役は江本孟紀、2代目小西博之、3代目南方英二、4代目と5代目続けてアントニオ猪木、6代目龍虎孝悦、7代目蔵間龍也が務め、8代目に初めて一般市民である、泉清氏が弁慶役を務めた。以降は一般市民から応募を募り、オーディションを経て弁慶役が決定される。

演劇弁慶伝説



闘鶏神社に特設舞台を設置し、上演される演劇。弁慶誕生から、義経との出会い、玉虫との出会い、源氏と平家の合戦を占う闘鶏、熊野水軍を率いての出陣など武蔵坊弁慶の生涯を劇で再現する。

役者は全て素人の一般市民で、オーディションによって選ばれ、約2か月の練習を経て本番を迎える。第14回目までは演劇はなく、弁慶一行が街中を練り歩く、武蔵坊弁慶熊野水軍出陣行列が行われていた。第15回目ですべて初めて演劇が行われ、15代目弁慶役の丸山雅之が、初めて市民役者として舞台に立った。

弁慶ゲタ踊り

第1回弁慶まつりから続く「弁慶ゲタ踊り」は、紀伊田辺駅から扇ヶ浜海水浴場まで続く大通りを、武蔵坊弁慶をイメージした振り付けと、「ソリャ、ウントコショ！アリャ、ドッコイショ！！」のかけ声を出しながら練り歩く。毎年約1000名が参加している。

弁慶よさこい踊り

第12回目（平成10年）から始まった紀州弁慶よさこい踊りは、扇ヶ浜会場、ビーチサイド会場、闘鶏神社会場、アオイ通り会場に分かれて予選が行われ、予選を勝ち抜いたチームが扇ヶ浜会場で最終決戦を行い、優勝チームを決める。その年の弁慶役が審査員を務める。

〇編集後記

今年の夏はおかしい！？例年だと、夏の初めにチゼミが鳴き出し→アブラゼミ→クマゼミ→そして夏の終わりを告げるように、ツクツクホーシ・ツクツクホーシと聞こえてアカトンボを迎える。ところが、先日公園を散歩していると、チゼミとツクツクホーシが同時に鳴いているではないか！？これはおかしい・・・



チゼミ



クマゼミ



ツクツクボウシ

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか